

第二回豊川市本庁舎等整備基本構想・基本計画策定委員会 議事録

1 開催日時 令和5年8月10日（木）午後3時00分～午後4時30分

2 開催場所 豊川市役所 本31会議室

3 出席者（敬称略）

【委員】11名 宇野勇治（委員長）、益尾孝祐（副委員長）、竹本秀邦、田中みや子、中田紘八、
橋本記久子、長谷川完一郎、伴野雅章、渡邊万美子、相原俊彦、尾崎幸弘

【事務局】11名 桑野副市長、田中副市長
財務部 木和田財産管理監、手塚次長
財産管理課 小野課長、伊藤主幹、村田係長、竹下、横田
ランドブレイン(株) 伊藤、名田

4 議題

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

(1) これまでの検討経過について

(2) 豊川市本庁舎等整備基本構想（案）について

(3) 今後の検討スケジュールについて

(4) その他

(5) 閉会

5 議事内容

■(1) 開会

事務局より、開会の挨拶。

■(2) あいさつ

桑野副市長より、挨拶。

■(3) 議事

(1) これまでの検討経過について

事務局より、資料1「これまでの検討経過」について説明。

(質疑応答) 質疑なし。

(2) 豊川市本庁舎等整備基本構想(案)について

事務局より、資料2「豊川市本庁舎等整備基本構想(案)」及び資料3「豊川市本庁舎等整備基本構想(案)【概要版】」について説明。

(質疑応答)

【委員長】	基本理念や方針などについて、本日の意見はまだ反映できる状態ということでしょうか。
【事務局】	その通りです。
【委員】	新庁舎の規模について、算定にあたって、職員数を計算に含めたということですが、一宮や音羽など各支所庁舎の職員数も含めていますか。それから教育委員会や上下水道部も、新庁舎に入れていきたいという構想だと思うのですが、そこを踏まえての計算でしょうか。
【事務局】	令和5年4月1日現在の配置予定部署等に配属されている職員数の合計値を採用しており、その中には、教育委員会や上下水道部の職員の数も含めた人数となっています。集約化というところで、こちらに呼び寄せる、集約するというのが今回の一つの目標となっています。
【委員長】	「豊川市公共施設適正配置計画」縮減目標面積について、保全計画対象施設の面積を全部合算して、出先の面積を抜いた残りが12,000平米というようなイメージでよろしいですか。
【事務局】	その通りです。出先というのは、こぎかい葵風館をイメージしていただければわかりやすいと思うのですが、窓口サービスの部分、印鑑証明を発行できる機

	能は今でも支所という機能で1か所残しています。今後もそういう窓口機能は各支所庁舎に残していく予定です。それ以外の上下水道部と教育委員会という機能のみをこちらに持ってくるようなイメージでよいと思います。
【 委 員 】	仮設費用はどれくらいかかるのでしょうか。
【 事 務 局 】	仮設費用の詳細な計算はしていませんが、約7,000平米の現本庁舎を先に解体して、新たに庁舎を建てようと思うと、当然ですけど7,000平米近くの仮設庁舎が必要になることが想定されます。小学校では仮設校舎を設けながら、建て替えや改修等を行うケースもありますが、ここの本庁舎を建て替える時に、そもそも仮設庁舎をどこに建てるのか、土地・駐車場の問題などを考えると、仮設庁舎の建設費だけでは収まらず、高額なお金が必要となります。また、仮設庁舎は建て替えが終われば、ただ壊してしまうことになってしまいますので、無駄なお金を可能な限り排除したいということから、なるべく仮設庁舎を建てずに空いているところに建てていくことで整理しています。今後、基本計画の中で、金額等もお示しをしていきたいと考えています。
【 副 委 員 長 】	整備プラン（案）について、A案、B案、C案のほか、折衷案も出てくると思いますが、現在の表現では、A案、B案、C案のどれかになるという読み方に見えてしまう可能性があるので、例えば整備スケジュールの、「変更が生じることがあります」といった表現のように、少し配慮していただきたい、ご検討いただくとよいと思いました。
【 事 務 局 】	適切な表現に改めたいと思います。
【 委 員 長 】	先行して新分庁舎の設計が始まるというスケジュールについて、景観的にも一体性が望ましいと思いますし、後から計画される新本庁舎や現存する北庁舎との連続性や機能的な部分が上手く連携できるとよいと思いますので、上手く流れるような、繋がるよう工夫をしていただきたいと思います。
【 事 務 局 】	新分庁舎は、現本庁舎の東側道路を挟んだ反対側の配置になると思われますが、例えば出入口の位置であったり、駐車場との動線といった部分などについては、当然配慮しながら考えてまいります。
【 委 員 長 】	整備スケジュールについて、予備的に見ているのかと思いますが、大規模改修工事が2年強という期間で記載されています。実際にはそこまでの期間にならないと思いますが、その辺りはいかがでしょうか。
【 事 務 局 】	合併推進債を活用するにあたって、新市基本計画の見直しの中で、期間等の定めをしないと合併推進債の対象になりません。新市基本計画の内容を何度も変更

	することは避けたい、難しいという中で、今回安全を見て令和13年までの事業ということで、少し長めにとっています。工事が二期工事になった場合なども想定しながら、全体事業としては令和13年にかかる可能性を踏まえてこのような表記をしていますので、ご理解いただければと思います。
【 委 員 長 】	基本理念1の「すべての人にやさしく開かれた庁舎」について、基本的に相応しいと思うのですが、さらに何か「学び」がある庁舎になっていくと、よりよいのではないかと思います。これからDX化やIT化が進むほど、行政と市民はある意味距離ができてしまうので、市役所に一度も来庁したことがない子が大きくなるということにもなりかねないと思います。現在、銀行も支店がどんどん縮小されており、市役所と市民の関係も、そのような希薄な関係性に近づいていく可能性があるのではないかと思います。小中学生や高校生、幼稚園で行くこともありますが、市役所へ訪れる機会があつて、行政の仕事やまちづくり、議会、民主主義といったことを子どもの時に学べるような庁舎であると、将来豊川市を担ってくれる人材として育ててくれるのではないかと思います。具体的にどのような表現に変えるかはお任せします。
【 事 務 局 】	学びという部分をどう捉えてこの施設に入れていくか、建物の中もあると思いますが、外での学びということもあると思いますので、敷地全体として、学びの場をつくれるような表現を検討させていただきます。

(3) 今後の検討スケジュールについて

事務局より、資料4「今後の検討スケジュール」について説明。

(質疑応答)

【 副 委 員 長 】	基本設計・実施設計の発注方法について、プロポーザルやコンペなどの開かれた、設計者を選ぶようなパターンになると思うのですが、自由度というのはどれくらいでしょうか。基本計画でパースまで作成するということになったり、住民参加でワークショップを行っていく中で、どこまで戻った提案を受け入れるのか、プロポーザルにあたって、その辺りのバランスの考え方を教えてください。
【 事 務 局 】	過去のこういった建物に対するプロポーザルでの提案というのは、あくまで基本構想・基本計画をしっかり踏まえた形での、その続きとしての基本設計・実施設計をイメージしたものとして、進めてきました。本庁舎等も、同じような発注の仕方になるのではないかと思います。今はまだそれという訳ではなく、どのような形が一番相応しいのか、それも基本計画の中で検討してまいります。

【副委員長】	基本計画には、ある程度アウトラインで、大まかな面積やボリューム感がわかる程度のパースとか、そういったイメージでしょうか。
【事務局】	その通りです。
【委員長】	配置案はA案、B案、C案とありましたし、折衷案もあり得るという議論もあったと思うのですが、パースを描くとなると多分配置案がかなり確定的になると思うのですが、そこはプロポーザルではもう求めずに、ある程度基本計画で決まった段階でプロポーザルを出すというイメージになるのでしょうか。
【事務局】	具体的な配置等も基本計画に設計業者が入る訳ではないので、あくまで目安としての絵で基本計画は終わっていくと思われます。そういう意味では、より素晴らしい案をプロポーザルの委員の方が決定していくものだと思いますが、それが基本計画の時点を上回る内容であれば、認めていく可能性もあるかとは思いますが。過去も必ず基本計画で描いたパース、配置、ゾーニング通りでない駄目だという制限はしていません。
【委員長】	例えばA案とC案がひっくり返ってしまうと、スケジュールも金額も大幅に変わってくると思うので、ある程度絞り込んで、概算が立つ程度までは押さえてからプロポーザルを出していくという感じでよろしいでしょうか。
【事務局】	その通りです。
【委員】	これからの建物、あるいは環境、防災が非常に重要と思いますが、今回のこの庁舎に対して、環境、例えば再生可能エネルギーを活用するとか、遮熱、断熱だとか、少しでも環境負荷の低い施設にしていかなければならないと思うのですが、その内容はどこに記載されていますか。
【事務局】	資料2、基本構想（案）の22ページをお開きいただきますと、基本理念3の方針7で、地球環境にやさしい庁舎という方針を掲げています。環境や防災は今後つくる庁舎においては当然備えるべき機能になってくるので、今の段階では、環境機能として省エネルギーであるとか、再生可能エネルギーの活用、ZEB対応等については十分配慮して今後さらに検討を進めていきますという、方向性のみ示しています。今後、基本計画の中では、ZEB対応に関しても、様々な水準がありますので、どこまでの水準を目指していくのかということをより詳細に検討していきながら、新しい本庁舎での環境性能を検討していきます。また、防災に関しても、今の段階では新本庁舎では、免震構造という形で災害対応においても拠点になり得る施設にするなどの方向性は出していますが、今後より詳細に検討していけたらと考えています。

【 委 員 】	ワークショップについて、第1回から第3回まで、たぶん豊川市内で開催すると思いますが、対象者や場所、そのワークショップを進めるのは誰が中心になって実施するのか、どのような人を考えているか教えてください。
【 事 務 局 】	ワークショップは、一宮の再編事業でも取り入れた方式です。本庁舎におきましても、今のところワークショップを3回程度開催したいと考えています。司会進行していくような部分は、委託先であるランドブレイン株式会社に専門で行っている方がいますので、その方をお願いします。これから公募等で実際にご参加いただく方を募集していきたいと思いますが、一宮の再編事業では、約20名に参加いただき、参加者を3グループに分け、それぞれにテーマを持って議論を行い、最後に発表会をするような内容のワークショップを実施しました。本庁舎等整備における具体的なワークショップの形態というのはこれから検討してまいります。おそらく同じようなイメージで進めていくことになると思います。これから、広報等を活用し、市民のワークショップ参加を募りながら、どのような形で進められるか検討し、方法等については、改めて策定委員会で報告させていただきながら、実施するということになるかと思っています。
【 委 員 長 】	ワークショップの1回から3回が近い時期に集中しており、テーマも割と似通っている。もうちょっとしっかりテーマを練りこんで開催できるとよいと思います。
【 事 務 局 】	承知いたしました。
【 委 員 】	今後のスケジュールについて、住民説明会とかワークショップの記載がありますが、一般住民の人達が実際に本庁舎を建て替える、こういった事業が動いているということをどこまでわかっているか、はっきり言って知らない人の方が多いと思います。住民説明会やワークショップを開催するのはよいですが、なるべく早く住民の人に知らせて欲しいです。住民説明会は10月開催予定になっていますが、もう8月半ばなので、広報で知らせていくと思うのですが、この事業が動いていることをわかっている人はごく一部なので、どんな人を公募で集めるのかと言っても、ここを建て替えますよっていうのをわかってくれないとやっても意味がないような気がする。なるべく早く住民の人にわかってもらえるとよいと感じます。
【 事 務 局 】	そういう意味も含めまして、会議を公開とし、新聞記者等もお越しいただいて、今まさに市役所の本庁舎の建て替えに取り組んでいるということを一般の皆さんに知っていただけるように、聞いていただいたところでございます。

	また、ワークショップや住民説明会の開催案内についても、ホームページ、広報、SNS等を活用し、できる限り早く対応してまいります。
【 委 員 】	基本理念の１・２・３、それに伴って方針が９つ示されています。どれも本当に大事な機能というのは第一に思いますが、委員長のいう、市民がこの庁舎に訪れるような、親しみを何に求めるかというところはとても大事ななと思っておりまして、豊川の歩みというか歴史、まちの特色などをそういった機能に求めていくことも必要かと思います。また、豊川市は農・商・工が非常に調和の取れたまちでもありますので、そういった実態を子ども達にも知ってもらえるような機能があれば、親御さんと一緒に市役所へ来てもらえるような環境ができるのではないかと思いますので、要望事項としてお話をさせていただきます。 また、確認ですが、方針９の議会機能、具体的な機能例に図書室という記載について、これは市民ではなくて議員の方の図書室ということですか。ここに書いた意味がよくわからないので教えてください。
【 事 務 局 】	本庁舎を新しく整備する時に学びの場になればよいというご意見につきまして、基本理念・方針の中で、どこに記載したら一番皆さんに伝わるのかということころを至急検討させていただきたいと思います。 また、図書室等とは、この基本方針９の具体的な機能例として、議場、傍聴席、委員会室、議員控室、図書室という、今、この本庁舎の３階にある機能と同じものですが、同様の機能が必要になるということで、図書室をここに記載したものです。特に市民用ではありません。
【 副 委 員 長 】	今後の検討スケジュールの資料について、民間活力導入可能性調査とありますが、どこまでの範囲として見ればいいのか、市庁舎全体を民間活力でやるのか、もしくは部分的な事業としてカフェであったり、様々な民間の施設導入を部分的に図ることを目的としているのか、その辺りの意図を教えてください。
【 事 務 局 】	今、P F I 導入可能性調査のスタートラインで、何を検討していくか、中間報告をしながら進めたいと思っていますが、今のところは市庁舎全体を検討する形で進められたらと思っています。委託業務の中には、実際にこのような条件であればやりますかというような、市場調査まで含めたP F I の導入可能性調査もメニューとしてはありますが、本市はV F Mを算定するまでの委託内容です。委託業者が作成している資料等が整いましたらご報告していきたいと思っています。
【 副 委 員 長 】	おそらく大きく民間活力を導入することになると、ワークショップ等で検討してきたことが全部覆ってしまう可能性もあるので、市民合意やイメージしている

	ものが変わってくるということが往々にしてあると思いますので、その辺りはご検討ください。
【 事 務 局 】	承知いたしました。
【 委 員 長 】	先ほどの図書室について、図書だけでいいのか、メディアというか、現代的な、もう少し幅広な何かこうしようという空間、学べるスペースにしておいてもよいと思いました。
【 事 務 局 】	承知いたしました。
【 委 員 】	先ほどのワークショップの内容に戻りますが、様々な世代で色々な意見を求めたいということですが、例えば10代と40代と60代が一緒に集まったとすると、どこかの年代がしゃべらないとか、ただ居るだけになってしまう気もするので、できるだけ近い年齢、世代で分けて、10代の考え、20代の考えというように、少し区切って実施する方がそれぞれの年代が考えていることが素直に伝わってくるのではないかと思います。もちろん、年代の高い方の意見も大切ですが、今後、豊川市を背負っていく子ども達の意見も非常に重要だと思いますし、やはり大人が考えていないことを、新鮮な意見を持ったりしていますので、見学会などを行い、子ども達がこの市役所に対してどう感じているか、聞ける機会があってもよいと思います。現状の小学生などの社会科見学の状況はわかりませんが、国会議事堂見学といった感じで、一度市役所へ足を運んでもらうことも一つ大切なかなと思いますので、そういったことも頭に入れて進めていただければと思っています。
【 事 務 局 】	ワークショップにつきましては、まさに今おっしゃったような形で若い方の意見を聞くことがとても大切だと認識しています。各市の状況、今のご意見を参考にしながら、策定委員会でもワークショップの進め方をお示ししながら開催していきたいと思います。第3回目の策定委員会の時には、ワークショップの詳細についてご報告させていただけると思います。
【 委 員 長 】	私に関わった事例では、幼稚園の親御さんと一緒にやるワークショップ、小学校でやるワークショップ等がありましたが、先ほどおっしゃられたような、社会見学に来てもらい、その後に意見を聞いたりするのも面白いと思いました。そういったところから出てきたアイディアや意見が反映されると、ユニークな豊川市役所庁舎の特徴になったりするかもしれないので、何かそういったところも面白いのかと思います。
【 事 務 局 】	承知いたしました。

■(4) その他

次回開催予定日時の共有。

■(5) 閉会

事務局より、閉会のあいさつ。

以上